



地域の伝統行事

とらへい・1/14

No.5

口和町の口南地域で、伝統行事「とらへい」が行われました。毎年1月14日ごろの夜に行われる行事です。

まず、子どもたちがわら馬（わらで作った馬）とわらすぼ（わらで作った入れ物）を、和牛農家を中心に地域の何軒かの農家の玄関に置き、「とらへい、とらへい」と裏声で家の中に声をかけ、物陰に隠れます。すると、家の人は縁起物のわら馬をもらい、わらすぼにお菓子などお返しを入れます。子どもたちはそれを見計らってわらすぼを取りにいけますが、その時家の人がかけてくるので、わらすぼを取って走って逃げます。

この日、子どもたちは数班に分かれ、雪の降る中、全20軒の家を楽しく巡っていました。



▲家の人に見つかり水をかけられる

いのちの大切さを伝える

ヒューマンフェスティバル2016&芸能祭・12/11

No.4

総領自治振興センターで「ヒューマンフェスティバル2016 & 芸能祭」が行われ、約180人が来場しました。

午前の部では、庄原赤十字病院助産師の寺本辰美さんと石田聖美さんが「いのちの授業」と題し講演しました。新生児人形を用いた「抱っこ体験」など交えながら、命の重さ・大切さについて語りました。

午後の部では、芸能祭が行われ、太鼓や紙芝居、総領保育所園児による歌や踊りなどが披露されました。その他、総領小学校児童のあいさつ標語、総領中学校生徒の人権標語の展示や地域団体の出店バザーもあり、来場者は多彩な催しを楽しみました。



▲妊婦ジャケットを用いて「妊婦体験」

広島県庁で雪合戦をPR

雪合戦まつりin広島県庁・1/14

No.1

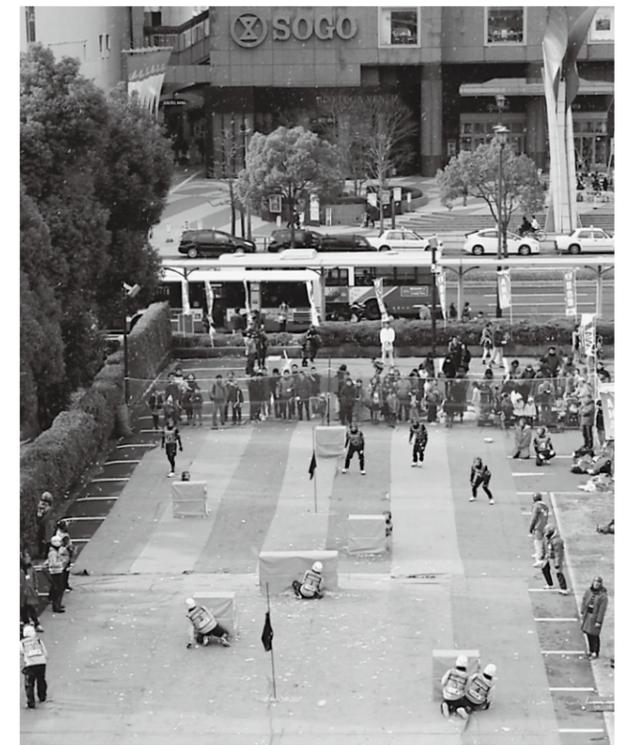
2月に高野町で開催される広島県雪合戦大会のPRイベント「雪合戦まつりin広島県庁」が広島県庁駐車場で開催されました。雪合戦大会の20回記念として、広島市の人にも雪合戦を体験してもらおうと、広島県雪合戦大会実行委員会が企画したもので、「ひろしまさとやま未来博2017」のプレイベントも兼ねています。

当日は人工芝を敷いて作った特設コートで、高野町から運び込んだ雪を使った「雪合戦の体験」や、昨年の全国大会で優勝したチーム「雪村時代」と「島根県選抜チーム」の模範試合などが行われました。

来場者は「思っていたより本格的で迫力があつた。高野の雪合戦大会に行ってみよう」と話していました。



▲興味深そうに雪だまを作る子どもたち



▲模範試合の様子を広島県庁から望む

忘れられない一日に

備北丘陵公園入園者 900万人達成セレモニー・12/31

No.6



▲風がなく田の水面に映る



▲認定証が手渡された



▲入園者数900万人達成を祝った

備北丘陵公園の入園者数が累計900万人を越え、記念セレモニーが行われました。900万人目となったのは、岡山県倉敷市から訪れた小野勝巳さん、志織さん、未優希さん、陽菜乃さん。国土交通省三次河川国道事務所溝山勇所長から認定証が授与され、奥井智裕備北公園管理センター長や木山耕三市長から記念品が贈呈された後、カウントダウンで小野さんが点灯ボタンを押し、園内のイルミネーションが一斉に点灯しました。

小野さんは「昨年は予定が合わず、イルミネーションを見られなかった。1年越しの来園だったが900万人目となり驚いた」と話していました。



▲イルミネーションが点灯するなか300発の花火が打ち上げられた

酒米の消費拡大を目指して

酒米記念碑建立除幕式・12/8

No.3

比和酒米生産組合が、「広島県の酒の消費拡大と、良質な酒米産地としての自覚と誇りをもち、さらなる生産振興を図る」ことを目的に、グリーンポート善妻路に記念碑を建立しました。除幕式には組合員など関係者約40人が参加しました。記念碑の裏面には、「八反錦1号」の由来と、比和の酒米の品種改良造成に長年尽力した倉岡侃さんの功績が刻まれています。

同組合では、現在94戸の農家で八反錦1号と八反35号を合わせ約70ヘクタール栽培しています。参加した組合員は、「今後はもっと多くの方に比和の酒米の良さを知ってもらい、消費拡大につながるよう生産にも取り組んでいきたい」と話していました。



▲除幕式の様子

活力ある地域づくりに貢献

「広島県いきいき地域づくり賞」授賞・12/21

No.2

九日市愛好会（寺岡隆行会長）が「平成28年度広島県いきいき地域づくり賞」を受賞し、県庁で知事表彰されました。この表彰は、自主的な地域づくり活動により地域振興や地域活性化に貢献している団体に対して、その功績を称え行われます。

同愛好会は、約400年の歴史を持ちながら戦争で途絶えていた「九日市」を復活させ、平成13年3月以降毎月9日に開催してきました。今では約50店の出店に加え、周辺施設で九日市にあわせた催しも増え、九日市を軸とした市民活動が活性化しています。

寺岡会長は「今後も地域の活性化のため『しょうばら九日市』を継続していきたい」と話していました。



▲表彰状を受け取った寺岡会長（右端）



くらしのことを学ぼう

行政相談出前教室・12/20

No.8

山内小学校で中国四国管区行政評価局、行政相談委員、庄原警察署が講師となり、行政相談の出前教室が実施されました。

6年生の児童7人は、行政のしくみや、行政についての困りごとを解決する行政相談委員の活動、最近の詐欺の手口や交通安全について学びました。行政相談委員の作田ユリコさんが、山内小学校前の道路標示が行政相談をきっかけに付けられたことを説明すると、児童たちは興味深く聞いていました。

児童からは「くらしの中で、行政がたくさんの方に関わっていることがわかりました。身近な事で困った事があれば相談したいです」との感想がありました。



▲「困った時は相談してほしい」と児童に伝える作田ユリコさん

手作りで地域が盛り上がる

東城ミュージックコンサート・1/15

No.7

東城自治振興区主催の「東城ミュージックコンサート2017」が、東城文化ホールで開催されました。

今回で4回目となるこのイベントでは、東城地域を中心とした18団体が、バンドやエレクトーン演奏、ダンスなどを披露しました。幅広い年齢層の出演者たちが、仮装や曲のアレンジなどでそれぞれの個性を出し、会場を盛り上げました。また、会場では地域の食材を使った手作りの料理も振る舞われ、来場者はコンサートの合間に食事を楽しみました。

大雪の中での開催でしたが、延べ550人が参加し、子どもから大人まで地域が一体となり、熱気に包まれたコンサートとなりました。



▲子どもから大人まで世代を超えて演奏した

一足早いクリスマス

西城子育て支援センタークリスマス会・12/14

No.10

西城子育て支援センター「キッズルームひよこ」でクリスマス会が行われ、保育所に入園前の子どもとその保護者8組16人と子育て推進委員、主任児童委員が参加しました。

子育て推進委員が演じるサンタクロースも登場する劇や、おはなし会「ダンボ」による絵本の読み聞かせ、手遊び、音楽会などが催され、参加者は一足早いクリスマスパーティーを楽しみました。また、サンタクロースから子どもたちにプレゼントが手渡され、子どもたちは大喜びでした。参加者同士の交流会もあり、保護者同士で子育てについての意見交換をしながら楽しい時間を過ごしていました。



▲サンタクロースから子どもたちにプレゼント

地域の伝統文化をつなぐ

戸山会新春神楽公演会・1/2

No.9

戸山会が^{とやまかい}口和老人福祉センターで、今回で18回目となる新春神楽公演を行い、約60人が来場しました。戸山会は約25年前に設立され、口和町常定神楽を継承し、口和中学校神楽同好会の育成、指導も行っています。

当日は、清めの舞、猿多彦の能、荒神山、伊吹山、恵比寿舞の5つの舞が演じられ、最後の恵比寿舞では餅まきもあり、来場者は一斉に手を上げて福餅をもらっていました。

戸山会会長の森末博雄さんは「^{ひろわ}口和の地に根付いていた文化のともしびをともし続けていくため、今後も公演会を続けていきたい」と話していました。



▲鉄砲打ちが化けぎつねを退治する場面